

大東ブラックスだより2005

第17号

平成17年7月27日

練習試合の結果

7月17日(日)に神戸川小学校体育館で練習試合がありました。その結果をお知らせします。

第1試合

大東ブラックス 42 $\left(\begin{array}{l} 16 - 28 \\ 26 - 17 \end{array} \right)$ 45 神戸川ブルーリバーズ

第2試合

大東ブラックス 37 $\left(\begin{array}{l} 20 - 17 \\ 17 - 23 \end{array} \right)$ 40 神戸川ブルーリバーズ

4、5年生の試合(2クォーターのみ)

大東ブラックス 16 $\left(\begin{array}{l} 0 - 14 \\ 16 - 4 \end{array} \right)$ 18 神戸川ブルーリバーズ

結果は上記のとおりでした。

1試合目は前半では負けていましたが、後半に同点まで追い上げました。これは、こちらのディフェンスが良かったからだと思います。相手に抜かれても、しつこくディフェンスについていたので、得点に結びつかなかったのだと思います。試合途中で子供たちに佐々木コーチが、ディフェンスの時にシリンドー(自分の領域)から出ないように手を上げていれば、少々体の接触があっても、ファールをとられない。抜かれた相手も、そうやって着いて走られたら、プレッシャーを感じると言っておられました。キャプテンの山崎くんも、3、4クォーターはオフェンスの時も前を走っていたと言っていました。

2試合目は1試合目とは逆に、前半の方が勝っていました。後半も3クォーター目までは抑えていましたが、最後の最後で逆転されてしまいました。応援も2試合目はベンチから一生懸命に声を出していました。

今日は負けたが、練習の成果が出ていたので、良かった。ディフェンスで相手にプレッシャーをかける事、ボールをもらった瞬間の判断が大事だ。スクリーンアウトはもっとゴール下から相手を押し出すようにすればボールが床に落ちてからでも取りにいける。最近の練習に取り組む姿勢が良くなってきている、練習中に、自分以外の人から指導を受けている時に、みんなで聞きにくるようになっている。自分に言われていないから関係ないと思うのではなく、一緒に話をきく姿勢をもつのは良いことだ。(佐々木コーチの言葉より)

今日は三つの約束はあえて言わなかったが、試合前のあいさつなど決まっていることは、言われなくてもやること。試合は気持ちで負けていた。(田部コーチの言葉より)

最後になりましたが、送迎に協力していただきました保護者のみなさん、応援に来ていただきました保護者のみなさん、お世話になりました。

今回も子供たちの感想はお休みです。

大東町のバスケットのホームページに大東ブラックスの紹介をしてもらっています。

ブラックス便りも掲載されていますので、アクセスしてみてください。

<http://user.yoitoko.jp/sho-yan/basukeindex.htm>